



# ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

令和3年1月6日

発行者 校長 池下栄里子

○思いやりのある子  
○たくましい子  
○助け合う子  
○よく考える子  
○進んでやる子

## 新年を迎えて

保護者、地域の皆様には、令和3年の新しい年を穏やかに迎えられたことと存じます。一方で、十勝・帯広では毎日のように感染者が発生し、医療関係者の皆様には年末年始に関わらずのご対応に心から敬意を表します。

昨年は今までに経験のないことに遭遇し、手探り状態の日々を送ってきましたが、皆様の多大なるご理解とご協力のお陰で、制限の多い中ではありましたが、子ども達の成長を願った教育活動を進めることが出来ました。

令和3年が、子ども達にとっても皆様にとっても落ち着いて喜びに満ちた年になるよう願っております。皆様、本年もお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

## 新たな試みにチャレンジ

児童会集会委員会では、12月最終日から1月にかけて計4回、『北栄！お絵かきですよ！』（某TV番組のパロディですね）を、職員室から各教室に校内テレビ放送で行っています。

「集まらなくても全校児童が楽しめる集会にしよう」を目標にしたこの企画。「コロナだから出来ない…」ではなく、「どうしたら出来るのか」を考え実践している姿はとても頼もしい限りです。先生や仲間と知恵を出し合って新しいことにチャレンジすることはとても大切です。（それにしても、よく考えつくものだと思心するばかりです。）



## スケート学習について

1月5日時点で降雪量がゼロとなっており、市内全ての学校でスケートリンクが完成していない状況です。また、今後の天候の状況から、スケートリンクが完成する目途が立たず、スケート学習が実施できないことも予想されます。

つきましては、当面の体育の学習は、他の種目に振り替えて行うこととします。また、記録会についても今のところ開催の目途が立たない状況です。今後リンク造成等に動きがありましたらお知らせいたします。

## 第2回学校評議員会から

2学期末、第2回目の学校評議員会を紙面開催の形で行いました。頂いた主なご意見をお知らせします。評議員の皆様、ありがとうございました。

### ○ 学校教育全般について

- ・コロナ禍における影響に苦慮しながらも、「子ども達にとって」を主軸とし、話し合いを重ね、毎日の生活や行事をくぐり抜けてきましたね。
- ・今年は今までと違うスタートでどうなるかと思っていましたが、いろいろ対策を講じて子ども達の安全も守っていただいたと思います。

### ○ 1学期の学校評価について

- ・65%の子どもは「学校に行くことを楽しみにしている」でしたが、残りの35%の子の思いにしっかりと心を傾けていかなければと思います。
- ・保護者の記述を読み、子どもや学校に対しての興味や関心の高さを感じました。心が大人になる学童期にこそ、保護者そして大人の心の支えが必要となります。子ども達のために、保護者と深くつながっていけるといいですね。

### ○ その他

- ・いつも以上に神経を使うことばかりで、先生もかなりの苦勞があったと思います。職員の皆様とたくさん子ども達がこれからも無事に過ごせればいいと思っています。